

# 災害後の 自殺を防止するために

緊急学習会

本年4月に発生した熊本地震は、甚大な人的・物的被害をもたらし、今なお多くの被災者が、不眠、不安、食欲不振などに苦しんでおられます。また、被災地の自治体職員が過労やストレスにより心の健康を損なう例も少なくありません。

災害は自殺のリスク要因のひとつであり、東日本大震災では、昨年まで毎年20～30人台の「震災関連自殺」が発生していると報告されています。熊本地震でも、本年8月1日に男性自殺者がはじめて震災関連死と認定され、被災者支援における自殺予防の必要性は高まっています。

そこで、本学習会では、東日本大震災後の自殺対策に取り組んできた専門家を講師に迎え、災害が精神疾患や自殺につながるメカニズムを知るとともに、被災者への接し方や精神的ケアの方法など、自殺予防に役立つ実践を学びたいと思います。

参加費 **無料** 事前申込 **不要**

日時 **2016年9月17日(土)**  
12:30 開場 13:00～14:30

場所 **アークホテル熊本城前  
椿・朝顔の間**



※駐車場の数に限りがありますので、できる限り公共交通機関でお越し下さい。

お問合せ先： 熊本県弁護士会 ☎ 096-325-0913  
福岡県弁護士会 ☎ 092-741-6416

講師

**前田 正治氏**

(福島県立医科大学・災害こころの医学講座 主任教授)

## ▶プロフィール

出身大学：久留米大学

専門分野：PTSD(心的外傷後ストレス障害)など  
トラウマ関連障害

・放射線医学県民健康管理センター 健康調査部門長  
兼 こころの健康・生活習慣調査支援室長

・ふくしま心のケアセンター 副所長

東日本大震災後、日本トラウマティック・ストレス学会の会長として福島での支援をされていたのをきっかけに、2013年10月より現職である福島県立医科大学・災害こころの医学講座の主任教授に就任され、以降、福島での震災後の自殺対策に尽力されている。

共催 熊本県弁護士会・福岡県弁護士会